

1年次の研究のまとめ

1年次の成果

- 学習状況調査の結果から見える課題について、実際に解答の分析を行い、児童の実態に応じた具体的な課題を考察し、授業改善策を構想したことにより、児童の実態に応じた授業改善の手立てを考察することができました。
- 授業改善策の考案、実践、考察を通して、授業づくりの際に陥りやすい教師の課題や授業の中で教師が意識しておきたいことが見えてきたことで、「授業改善に向けて意識しておきたいこと」が明らかになってきました。
- 授業実践を通して、具体的な課題に対して、児童の社会科における思考力・判断力・表現力を育み、知識を身に付けながら社会的事象の意味を考え、理解する力を高める手立てが明らかになってきました。
- 授業実践の中でも、1年次は学習問題づくりに重点を置き、研究を進めてきました。また、学習問題づくりの授業を県内の先生方に公開したことで、より多くの先生方の御指摘、御助言を頂き授業改善策の提案に生かすことができました。さらに、参観いただいた先生方にも授業改善に向けて意識したいことや取り入れたい授業改善策を具体的に紹介することができました。

2年次に向けた課題

- 授業改善の具体的な手立ては、1単元内に1度しかないものがあります。したがって、授業改善策の効果については、1単位時間の実践では思うように結果が見えませんでした。継続して授業改善に取り組むことで、児童に指導していく必要があります。また、継続的に授業改善策を取り入れた結果を検証、考察していく必要があります。
- 理論研究及び授業実践を通して、課題解決のためには、授業に対する教師の意識改革が必要であることが分かりました。特に、目標の正しい理解と児童の主体的な学びをつくるといった基本的な学習の素地づくりが最も大事だということが分かりました。2年次は、授業の手立てだけではなく、授業環境づくりも視野に入れ、授業改善策を探っていく必要があります。

終わりに

平成27年度は、太良町立大浦小学校、唐津市立相知小学校、鳥栖市立若葉小学校において、授業改善策を取り入れた授業を公開し、公開授業研究会を開催しました。多くの先生方に参会していただきました。

貴重な御意見、御感想を頂き、本研究の成果と課題が明らかになりました。本研究の成果を児童の学びに還元していただければ幸いです。多くの先生方の御参会に感謝申し上げます。

最後に、本研究に御協力いただきました佐賀県小学校教育研究会社会科部会、公開授業研究会各校の皆様へ深く感謝申し上げます。